

「利用したい」が79件

追加で希望を受け付けます

村では今年二月に、高速インターネット回線の利用希望アンケートを全世帯を対象に行いました。

回答は八十七件で、うち高速インターネット回線の利用希望者は七十九件ありました。

現在、全国でADSLなど高速インターネット回線の整備が急速に進んでいます。岩手県内でも多くの市町村で利用できるようになっていきます。村でこのサービスを実施するには、事業者の採算の問題から、ある一定数の加入者が必要とします。

村では二百件を目途に、村民の皆さんから「利用したい」という希望を集め、通信業者



高速インターネット回線の整備が望まれます



ふれあい交流センターでのパソコンの無料開放

にサービスの提供を要望したいと考えています。

今回のアンケート結果を受け付け村では追加希望を受け付けています。前回のアンケート未回答の方で、利用を希望する方は、役場総務課（☎351-2111）に記入用紙がありますので、その用紙に住所氏名、電話番号などをご記入願います。また、FAXでも受け付けています。

ADSLって何？

家庭などの電話回線を利用して、大容量データの高速通信を定額料金で利用できるサービスです。インターネットは二十四時間でき、インターネットと電話が同時に利用できます。

子どもたちが熱心に練習

鵜鳥神楽の伝承活動始まる

四月三十日、普代小学校（宮古聖明校長、児童百八人）の五、六年生四十人は、五月二十日の運動会での発表に向け、鵜鳥神楽の練習を始めました。

神楽の演目は「綾遊び」で、鵜鳥神楽保存会の三上岩富さん（77歳、田野畑村在住）写真右が指導に当たっています。

この日は同小の体育館で神楽の基本を約二時間、熱心に練習しました。

初めて練習する五年生は、始めは足の動かし方が分からず、苦勞していました。が、六年生の舞を見ながら練習し、徐々に慣れてきた様子でした。

六年生の中居ちはるさんは「立ったりしゃがんだりしてから舞下りをするのが難しいです。でも、最後の運動会での発表なので頑張ります」と話していました。

村では普代小のほか、堀内小で「三番叟」と「神葉」、鳥茂渡小で「御神楽」、黒崎小で「七ツ門」と「矢太寿」、普代中が「中野流鵜鳥七頭舞」と村内の全校でそれぞれ鵜鳥神楽の伝承活動に取り組んでいます。練習の成果は、運動会やふだいまつり、各種発表会などで披露します。

今回、運動会での神楽の発表は普代小のほか、鳥茂渡小（五月三十日）、黒崎小（五月二十三日）で予定しています。



運動会での発表に向け、練習に励む普代小の児童